

SpectraView[®]-V2

データ収録・FFT解析ソフトウェア用
後処理・回転トラッキング解析ソフトウェア

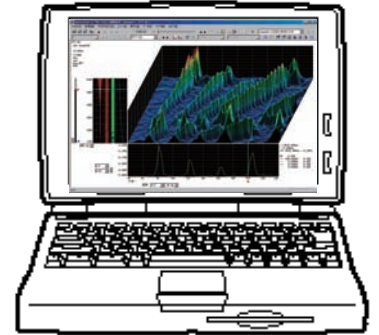
SpectraViewで収録した回転振動データを呼び出して rpmトラッキング解析を実現



レコーディングユニットLX/GXシリーズ



データ収録・FFT解析ソフトウェア
SpectraViewで収録したファイルを
当ソフトで読み込み、解析します



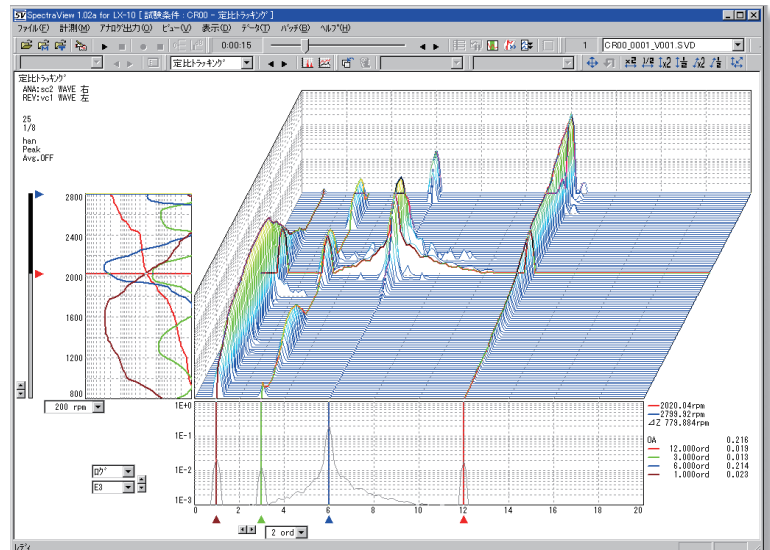
- SpectraViewLX/GX用データ収録・FFT解析ソフトウェアで、リアルタイムに収録したファイルを読み出して、回転数に比例した振動解析を行なえます。エンジン、モータ、コンプレッサ等の回転機械に関する振動解析を行なう場合には、後処理・回転トラッキング解析ソフトウェアが不可欠です。
- 当ソフトウェアは、高速波形、振動データの収録、リアルタイムFFT解析までをトータル的に処理できるSpectraViewのオプションとして、定幅トラッキングやリサンプリングによる定比トラッキング解析を実現します。

定比トラッキング/定幅トラッキング解析が可能、回転機械の振動解析ができます

- 収録データをソフトウェアでリサンプリングして、回転数に比例した定比トラッキングと、周波数スペクトルから次数成分を抽出する定幅トラッキング解析ができます。
- 画面表示は最大32chまで表示可能なT-Y、X-Y、FFTグラフに加え、キャンベル線図、回転次数比グラフをシングル／マルチ(2～4段3分割)／クロス(上下2段4個)で表示できます。トラッキング3Dグラフも表示できます。
- 回転数の入力は、定幅トラッキングの場合にはF / Vアンプ、電圧入力で行い、定比トラッキングの場合には、回転パルスを入力、タコ入力で行います。

後処理
回転トラッキング解析
ソフトウェア

定比トラッキング3Dグラフ



SpectraView V2

スペクトラビュー、後処理・回転トラッキング解析ソフトウェアは、TEACのレコーディングユニット「LX/GXシリーズ」で収録した回転振動データを再度呼び出して、定幅トラッキングとソフトウェアでのリサンプリングによる定比トラッキング解析を実現します。エンジン、モータ、コンプレッサ等の回転機器の試験、保守作業や現地試験に役立つ、回転振動ソフトウェアです。

特徴

回転振動データ解析用ソフトとして自動車、重電、家電業界や研究所で多数採用されています。

- 「SpectraView」でリアルタイムに収録したデータを再度呼び出してトラッキング解析
- 計測データをリサンプリング(ソフトウェア)して回転数に比例した定比トラッキングを実現
- 回転数の入力は、外部F/Vコンバータ(電圧入力)やLX-120のタコパルス入力で行います。

収録データをリサンプリングし、外部クロックサンプル相当の次数比解析を実行

定比トラッキング解析部

解析手法	リサンプリング データを解析	外部パルス数 最大分解能	0.5 ppr ~ 1/32
最大解析次数	200次	回転パルスの入力方法	DCアンプ、または LX-120タコ入力
解析回転数範囲	20 rpm ~		

サンプリング 周波数(Hz)	最大pps ※1	最大ppr				
		24000	12000	6000	3000	1500
102,400	12,800	100 32	200 64	200 128	200 256	200 512
51,200	6,400	50 16	100 32	200 64	200 128	200 256
25,600	3,200	25 8	50 16	100 32	200 64	200 128
12,800	1,600	12.5 4	25 8	50 16	100 32	200 64

※1 最大ppsはサンプリング周波数の1/8としています。(デューティ比に注意が必要です)

リサンプリングせず、次数成分を周波数スペクトルから抽出

定幅トラッキング解析部

解析手法	周波数スペクトルから次数成分を抽出
最大解析次数	200次
解析回転数範囲	F/Vアンプの仕様に依存
最大分解能	1/32
回転パルスの入力方法	LX-120タコ入力、外部F/Vコンバータ

グラフ表示部

定比トラッキング 3Dグラフ	回転次数比スペクトル(定比解析)の回転数方向の変化を3Dで表示する
定幅トラッキング 3Dグラフ	回転次数比スペクトル(定幅解析)の回転数方向の変化を3Dで表示する
キャンベル線図	回転数による次数の振幅レベルの変化を円弧の大きさで表示する
回転次数比グラフ	リサンプリングデータを解析することにより、次数成分のスペクトルを表示する
rpmトラッキンググラフ	特定の次数成分の振幅レベルの回転数による変化を表示する

*各グラフを組み合わせて7種類(シングル、マルチ、加算)の表示形式を指定することができます。

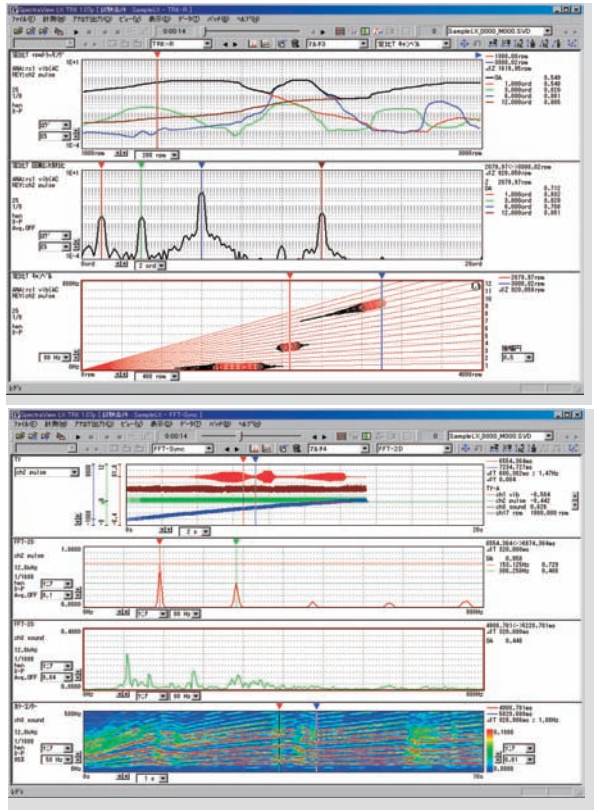
SpectraView



LX-110

LX-120
(タコパルス入力内蔵)

トラッキンググラフ表示例



● Spectra View V2

■ 4台同期オプション

使用機器について

レコーディングユニット LX-100シリーズ LX-110/LX-120 (※1) (※2)
最大32チャンネル(本体16チャンネル+拡張ユニット)、同期オプションで128チャンネル

● 動作環境

使用OS	Windows XP / 2000 / Windows Vista / 7 (対応予定)
CPU	Pentium IV 以上 推奨
必要メモリ	512MB 以上 推奨
ハードディスク容量	1GB 以上 (計測時間、チャンネルにより決定)
ディスプレイ	カラーXGA (1024×768) 以上
プリンタ	Windows対応プリンタ
インターフェース	IEEE1394カード(PCMCIA/PCI) / 指定カード、LAN
ケーブル	IEEE1394ケーブル/指定ケーブル、LANケーブル

※1 LX-100シリーズの詳細仕様は、別途カタログを参照ください。

※2 後処理トラッキングオプションは、LX-120 タコパルス入力を選択ください。

システム構成価格：お問い合わせください。
セットアップディスク、取扱説明書(納入立会費用を含みます)

- 「LX-120」の仕様については、別途資料をご参照ください。
- 使用するセンサ、センサアンプ、ソフトウェア詳細仕様については当社にお問い合わせください。
- 本文中の商品名は各社の登録商標です。本仕様はお断りなく変更することがあります。
- 当ソフトウェアの納入立会、個別改造については、当社にお問い合わせください。
当社ではこの他、計測制御系の各種ソフトウェアの受託開発を行います。

開発元・ソフトウェアお問い合わせ先



株式会社ハビリス システム営業部
〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル
TEL:03 (3769) 6291 FAX:03 (3769) 6285
ホームページアドレス <http://www.habilis.co.jp>
「SpectraView」お問い合わせメールアドレス Sales@habilis.co.jp

仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。記載の社名及び商品名はそれぞれの各社の登録商標です。このカタログの記載内容は2010年4月のものです。

お問い合わせは

注意
●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。